
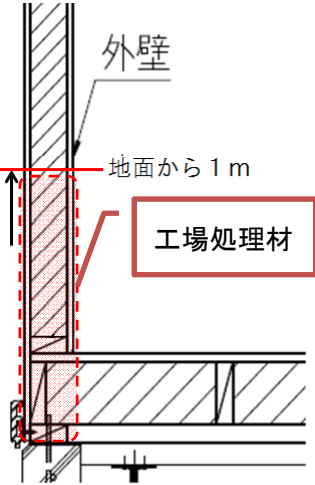
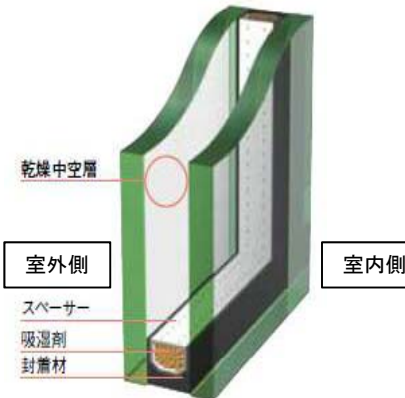
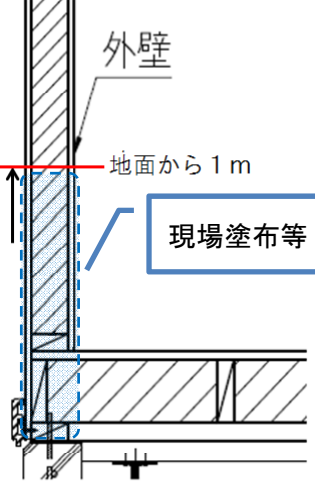


型式住宅部分等における不適合内容の主な例について

別紙2

省エネルギー対策等級における開口部仕様の違い		劣化対策等級における構造方法の違い	
<p>評価書の仕様（等級4）</p>	 <p>【低放射複層ガラス】 ガラスに特殊な金属膜（Low-E膜）のコーティングを行い、暖房熱を逃がしにくくすることにより、暖房負荷を低減した複層ガラス</p> <p>《熱貫流率※》 2.33(W/m²・K)以下</p>	<p>評価書の仕様（等級3）</p>  <p>【K3相当以上の防腐・防蟻処理】 地面から高さ1m以内の部分について、防腐・防蟻性能が高い（日本農林規格に規定する保存処理性能区分K3と同等以上のもの）工場処理材を使用</p> <p>外壁部 断面図</p>	
<p>実際の住宅（等級3）</p>	 <p>【普通複層ガラス】 単板ガラスを複層にしたガラス（コーティング無し）</p> <p>《熱貫流率※》 3.49(W/m²・K)以下</p>	<p>実際の住宅（等級2）</p>  <p>【防腐・防蟻に有効な薬剤を使用】 地面から高さ1m以内の部分について、防腐・防蟻薬剤（性能の指定無し）を現場処理（塗布・吹き付け）等</p> <p>外壁部 断面図</p>	

※熱の移動のしやすさ。数値が小さいほど断熱性能が高い。